

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに第120期第3四半期（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）の営業の概況をご報告申し上げます。

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国は緩やかに回復したものの、欧州の回復遅れや新興国の成長鈍化により、弱い回復が続きました。わが国経済は、政府の経済対策による円高の修正や公共投資の増加に加え、個人消費の上昇や設備投資の持ち直し等に支えられ緩やかな回復が見られました。

このような状況下、当社グループは、グローバルでの“成長”と高収益体質への“変革”を基本方針とした中期連結経営計画「Growth & Change 2015」を推進してまいりました。その一環として、北米及び南米での需要増加に対応するため、乗用車用スチールホイールの生産子会社であるトピー・エムダブリュ・マニユファクチャリング・メキシコ S.A.DE C.V.（メキシコグアナファト州）を設立いたしました。さらに、需要に応じた生産体制の構築や生産性の向上等のコスト改善にも引き続き取り組んでまいりました。

今後の経済環境の見通しにつきましては、政府が取り組む経済対策により、わが国経済は緩やかに回復していくものと期待されるものの、米国の政策動向、中国やその他新興国の経済動向等、世界経済の情勢に不透明感が強く、当社グループを取り巻く事業環境は厳しい状況が継続するものと思われま

す。このような経営環境下、当社グループは、中期連結経営計画「Growth & Change 2015」を推進する中で、成長が見込まれる海外市場に対して積極的に事業展開を図るとともに、国内のモノづくり基盤を強固なものとすることで、環境変化に強い事業構造を確立し、企業価値の一層の向上に努めてまいります。今後も、コーポレートメッセージ「One-piece Cycle」が表す「素材から製品までの一貫生産」の優位性を発揮し、トピー工業グループの一貫利益の追求とさらなる躍進を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年2月



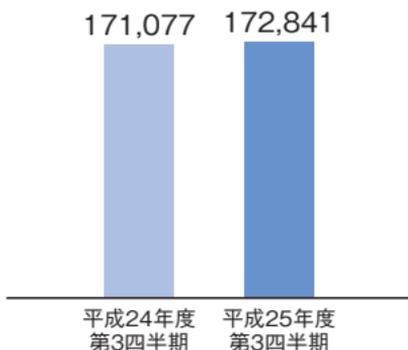
代表取締役社長

藤井 康雄

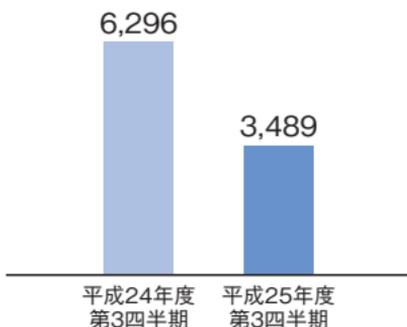
連結業績の推移

(単位：百万円)

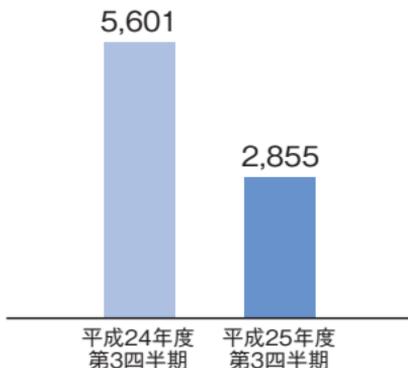
売上高



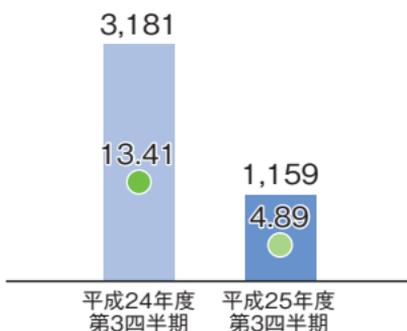
営業利益



経常利益



四半期純利益 (■) 1株当たり四半期純利益 (●) (円)



四半期連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科目	平成24年度 (平成25年3月31日)	平成25年度第3四半期 (平成25年12月31日)	科目	平成24年度 (平成25年3月31日)	平成25年度第3四半期 (平成25年12月31日)
資産の部			負債の部		
流動資産	93,954	102,537	流動負債	72,617	79,972
固定資産	114,827	124,617	固定負債	44,905	49,228
有形固定資産	83,614	88,385	負債合計	117,522	129,201
無形固定資産	1,164	1,222	純資産の部		
投資その他の資産	30,048	35,009	株主資本	89,196	89,874
資産合計	208,781	227,154	その他の包括利益累計額	326	6,261
			少数株主持分	1,735	1,817
			純資産合計	91,258	97,953
			負債純資産合計	208,781	227,154

セグメント別の営業概況

鉄鋼事業

売上高 53,719百万円 ▲ 営業利益 931百万円 ▼

電炉業界は、需要回復の兆しが見られたものの、主原料である鉄スクラップ及び電力等の価格上昇により、極めて厳しい環境となりました。

このような状況下、当社グループは、徹底的なコストの削減や適正な販売価格の形成に努めました。鉄スクラップ及び電力等の価格上昇による影響を受けました。

自動車・産業機械部品事業

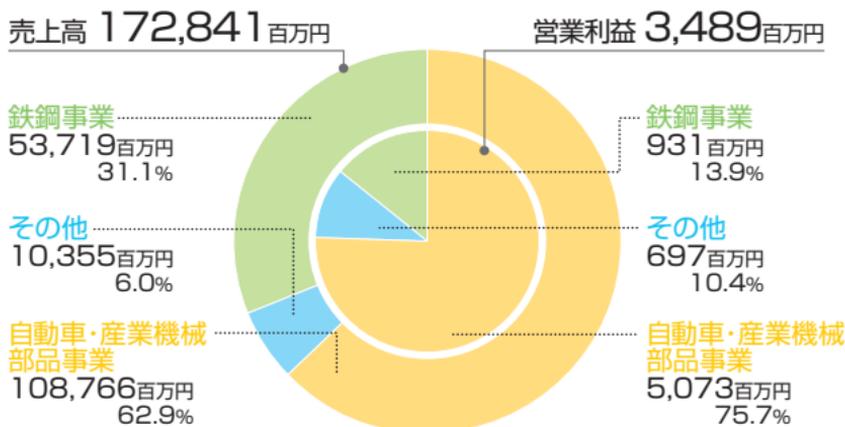
売上高 108,766百万円 ▼ 営業利益 5,073百万円 ▼

自動車業界は、エコカー補助金の打ち切りに伴い乗用車は販売が減少したものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要により、国内生産台数は前年同期並みとなりました。建設機械業界は、国内需要が好調に推移したものの、東南アジア市場の成長鈍化及び鉱山機械市場の停滞により、厳しい環境になりました。

このような状況下、当社グループは、トラック用及び乗用車用ホイールの需要を着実に捕捉し、販売が堅調に推移いたしました。さらに、あらゆる改善諸施策にも継続して取り組んでまいりました。しかしながら、鉱山向け超大型ホイール及び建設機械用足回り部品の販売数量減少、並びに競争激化による収益性低下の影響を大きく受けました。

その他

売上高 10,355百万円 ▲ 営業利益 697百万円 ▲



※セグメント別の営業利益及び構成比は、調整額調整前の数値で表示しております(合計6,701百万円)。

連結業績の予想

	平成25年3月期 実績	平成26年3月期 予想
売上高	226,912百万円	232,000百万円
営業利益	6,990百万円	4,500百万円
経常利益	6,234百万円	3,700百万円
当期純利益	3,409百万円	1,500百万円
1株当たり当期純利益	14.38円	6.33円

配当の状況

	平成25年3月期 実績	平成26年3月期 実績・予想
第2四半期末	2.00円	0.00円
期末	2.00円	2.00円
合計	4.00円	2.00円

平成26年3月期の連結業績予想及び1株当たり配当予想に関しましては、平成25年11月6日に修正をしております。



敷地面積 約18万㎡ 従業員数 266名 (2013年12月末現在)
生産品目 履帯、履板、リンク、ピン、ブッシュ

トピー履帯（中国）は、中国における建設機械用足回り部品の製造販売拠点として、2013年1月に本格操業を開始しました。この操業により、トピー工業グループの中国における履帯の主要構成部品の現地調達率を向上し、海外での履帯事業の競争力を強化いたします。

トピー履帯（中国）は、当社グループ初となる海外での履板の熱処理加工とリンクの鍛造を行っています。これにより、履板とリンク、ピン、ブッシュの生産から履帯の組み立てまで、一連の生産体制を確立いたしました。この工場で生産される建設機械用足回り部品は日系メーカーを中心に、中国国内だけではなく、ASEAN諸国にも供給しています。

今後は、2002年に設立した青島トピー機械有限公司との一体運営により、グローバル調達と最適生産体制の構築を一層強固にまいります。

